

〈C(結論)の出し方〉

- ① 現状を示すデータ
- ② ①の「原因」にあたりそうなデータ (ここまでは前の時間に終わっているはず。)
- ③ ①、②より分かったことをまとめ直す。
- ④ ①の「原因」を解消するために、どうすればよいか考察を書く。

例)

調査の結果、教員の志望者は年々減少していると分かった。また、学生に聞いたアンケートの結果より、教員の長時間労働の問題が要因の一つであることが分かる。(③の内容)

そのため、外部の教員支援員を増やす取り組みを行えば長時間労働は減り、教員志望者は増えるのではないかと考える。(④の内容)

〈ポスター作成の手順〉

各 R の RAP 基礎で課題配信されている URL よりキャンバを開き、どちらのテンプレートを使用するか決める。
(どちらのテンプレートをしても良い)

使用するテンプレートを保存して、テンプレートの名前をR、出席番号、氏名にする。(例:2801 松江太郎)

「探究計画書」に書いた内容をテンプレートに張り付けていく。

データ①、②には引用文献を記載せず、下段の「引用文献、参考文献」に記す。

(スペースの関係で参考文献が書けない場合は、データ①、②の引用文献を優先的に書く)

「引用文献、参考文献」の書き方は以下の例に従って、「作成者、公開年、web ページのタイトル、アクセスした日づけ、URL」の順番で書くこと。

⑤ インターネット上の資料

文部科学省	2012	大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～	2016年6月23日
(作成者)	(公開年)	(Web ページのタイトル)	(アクセスした日づけ)
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/_icsFiles/afieldfile/2012/06/05/1312798_01_3.pdf			
(URL)			

(岡本尚也『課題研究メソッド』p28)

提出する!

時間に余裕がある場合は、さらに探究の内容を深めたり、ポスターの構成を工夫する。

〈C(結論)の出し方〉

- ① 現状を示すデータ
- ② ①の「原因」にあたりそうなデータ (ここまでは前の時間に終わっているはず。)
- ③ ①、②より分かったことをまとめ直す。
- ④ ①の「原因」を解消するために、どうすればよいか考察を書く。

例)

調査の結果、教員の志望者は年々減少していると分かった。また、学生に聞いたアンケートの結果より、教員の長時間労働の問題が要因の一つであることが分かる。(③の内容)

そのため、外部の教員支援員を増やす取り組みを行えば長時間労働は減り、教員志望者は増えるのではないかと考える。(④の内容)

〈ポスター作成の手順〉

各 R の RAP 基礎で課題配信されている URL よりキャンバを開き、どちらのテンプレートを使用するか決める。
(どちらのテンプレートをしても良い)

使用するテンプレートを保存して、テンプレートの名前をR、出席番号、氏名にする。(例:2801 松江太郎)

「探究計画書」に書いた内容をテンプレートに張り付けていく。

データ①、②には引用文献を記載せず、下段の「引用文献、参考文献」に記す。

(スペースの関係で参考文献が書けない場合は、データ①、②の引用文献を優先的に書く)

「引用文献、参考文献」の書き方は以下の例に従って、「作成者、公開年、web ページのタイトル、アクセスした日づけ、URL」の順番で書くこと。

⑤ インターネット上の資料

文部科学省	2012	大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～	2016年6月23日
(作成者)	(公開年)	(Web ページのタイトル)	(アクセスした日づけ)
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/_icsFiles/afieldfile/2012/06/05/1312798_01_3.pdf			
(URL)			

(岡本尚也『課題研究メソッド』p28)

提出する!

時間に余裕がある場合は、さらに探究の内容を深めたり、ポスターの構成を工夫する。

R7 6月18日(木)

第6回 RAP 基礎 A,B ワークシート

ポスター評価基準

- ① 全ての欄が埋まっている
- ② データから読み取ることができる内容を書けている×2
- ③ まとめて自身の考察を書くことができています
- ⑤ データの引用文献の書き方が例示通りである